

2020年度番組審議会 議事録

日時：2020年3月25日（木） 15:30～17:30

場所：株式会社伊豆急ケーブルネットワーク本社事務所 会議室
番組審議会 出席者

委員：前田宗宏 委員（会長）・磯川善幸 委員・川口正樹 委員・
岩崎名臣 委員（市川幹夫委員・稲葉裕子委員・佐藤文彦委員は欠席）

事務局：比企恒裕（代表取締役社長兼メディア事業部部長）
土屋孝文（経営企画部兼メディア事業部担当部長）
岩本 互（メディア事業部兼法人営業部担当部長）

原 隆晃（課長補佐 コミチャンチームリーダー）
遠藤 昇（コミチャンチーム 編成デスク）
関 茉林（コミチャンチーム 湯河原町番組担当）
森 彩美（コミチャンチーム 伊東市番組担当）

陪席：三井大峰（経営企画部長）

議題

- （1）前年度審議番組にいただいたご意見についての反映報告。
- （2）審議対象番組についての審議。
- （3）コミュニティチャンネル、メディア事業部の新たな取り組みについて
- （4）弊社新サービスのご紹介

(1) 前年度審議番組にいただいたご意見についての反映報告。

制作 遠藤：

前回の審議対象番組は、今回と同じ、「地域ど密着バラエティ」として放送の YOU YOU 湯河原、あつあつあたみ、THIS is ITO、みらっしゅ東伊豆の4本でした。

ご審議いただく中で、前田会長より「番組の企画・撮影・編集をひとりでやっている部分での苦勞が感じられる。制作に携わるスタッフを増やした方が、より良い番組ができるのではないか。インタビューも撮影と分担したら、聞き出し方や撮影の仕方で工夫ができるのではないか。」とのご意見をいただきました。

このご意見への対応として、収録方法の見直しに取り組みました。従来からの湯河原に加え、熱海、伊東についても収録時には、リポーターとは別に撮影担当を分けて実施するようにいたしました。

これにより、深く聞き出すインタビューや多角的な画面作りができるようになりました。また企画のリサーチも手分けしたり、広く社内から地元情報の提供を受けたりしながら進めております。

東伊豆の対応が遅れておりましたが、企画リサーチや出演に東伊豆町在住の地域おこし協力隊員で、町内で歌のお姉さんとして活動する高瀬真由さんを起用して、今後は担当の小林と共に番組作りを進めてまいります。

なお熱海と伊東の番組の主な担当については、今年度より熱海が望月、伊東が森となりました。熱海については遠藤、湯河原、伊東については原が技術的な補助を担当しております。

前回審議番組で頂戴したご意見とそれを受けて改善した点をご報告致しました。

(2) 審議対象番組についての審議

～委員の皆様より ご感想、ご意見と質疑応答～

◎番組内容の説明、ご意見、ご質問などについての応答について

【YOU YOU 湯河原について】

磯川委員：番組導入部分にナレーション等の説明があったほうが良い。
コロナ禍でのオンラインでの番組作りはご苦労があったと思うが、ガイド番組として配慮があってよかった。

制作 関：ご指摘いただいた意見を今後の番組作りに反映させてまいります。

【あつあつあみについて】

磯川委員：オンラインを使用しての町内の取り組みや人口減少による役員不足などを話題に取り上げたのは良い目線。問題提起のみならず今後の対策等まで取り上げるとなお良いのでは。

川口委員：旭町二丁目町内会のオンライン会合の取り組みを見て他の町内会も「うちもやってみよう」という流れになることを期待している。
こうした取り組みの導入方法などをケーブルテレビで放送してもらえればとおもう。

前田会長：サブタイトルに違和感を感じた。出演者のコメントを活かしたものに
するなどの工夫がほしい。

制作 遠藤：熱海市の若い町内会長さんの新たな取り組みを取り上げた。
引き続き熱海市内の世代間交流などを取り上げてまいりたい。

【THIS IS ITO について】

磯川委員：番組を通して出演者の子供たちから元気を頂いた。リポーターの声も
元気が良く、聞きやすかった。撮影場所が体育館だったので、背景が
華やかな場所で撮影しても良かったのでは。

岩崎委員：コロナ禍により学校行事を見学できない状況の中で、校内イベントを紹介するのは保護者の方は喜んだのでは。運動会などはもちろん、引き続き学校行事の取材は行ってほしい。

前田会長：児童へのインタビューを行う際には名前を呼んであげるというのも特に保護者などは親近感が湧いて良いのでは。
(名前で呼んでも良いという了承があるのであれば)

制作 原：今回ご紹介した学校側より「保護者への確認が取れていないので児童を名前を呼ぶのは控えてほしい」との仰せがあった。
引き続き取材の際には学校側の意向を確認するなどしながら番組作りをおこなってまいりたい。

制作 森：インタビュー時の言葉の使い方などには注意していきたい。
撮影場所についても番組進行に余裕を持って移動を行うなど出演者にも楽しんでもらえるよう取り組んでまいりたい。

【みらっしゅ東伊豆について】

岩崎委員：番組タイトル曲に個人的に思い入れある「金目の大将」が使用されていてうれしく思った。東伊豆には元気なシニア層もいらっしやるので、引き続き取り上げていただきたい。

前田会長：単にサークル活動だけでなく、イベント時のコロナ対策についても取り上げていてよかった。個人にスポットを当てた番組ならば、特段の条件などがないようであれば、出演した皆さんの個人の紹介があったほうが良い。

磯川委員：歌の取り上げだけだと単調に感じる。出演者との対話を挟むなどの番組構成があると見ていて飽きが来ない

制作 遠藤：今回の番組は取材を一人で行ったもの。
今後はリポーターと撮影者を分けるなどして対応してまいりたい。

【全般を通しての質問など】

岩崎委員：視聴者からの取材依頼などはよくある事なのでしょうか

制作 遠藤：情報提供は多くいただいております。話題性や4つの地域の情報量に偏りのないようにバランスを取りながら取材を行っています。

川口委員：番組を通して感染対策などのコロナ禍で役に立つ情報などを取り上げていただきたい。

ご意見ありがとうございました。

今後のコミュニティチャンネル運営の参考とさせていただきます。

その他

(3) コミュニティチャンネル、メディア事業部の新たな取り組みについて

(4) 弊社新サービスのご紹介

以上の内容を原より報告、説明。

どのような改善をしたかというのは次回の番組審議会で報告。

今回紹介した内容の概要についてはHPやコミュニティチャンネル内で紹介

以上